

働き方改革の必要性

1 そもそも「働き方改革」とは？

- ① 働く人の立場で、一人一人が事情に応じて、多様な働き方を選択できる社会
 - ② 誰もが生きがいを持って、能力を発揮していく社会
- を目指していくもの、とされています。

対象は…

女性、若者、高齢者、障がい者、病気治療中の方、など全ての方です。



2 なぜ今、「働き方改革」が必要なのでしょう？

【背景】

現在、日本は少子高齢化が進行
↓
労働力人口の減少

そうした中で、経済を持続的に維持していくためには…

- ・「働きたい」と希望するすべての方が、納得できる形で働き、活躍できるようにする。
→ その結果、働く方は、より良い将来の展望が持てるようになる。
- ・働く方一人一人の生産性を高めていくようにする。
→ その結果、限られた人口の中でも経済の維持・発展が可能。

このように

一億総活躍の明るい未来を切り拓くことができれば、
少子高齢化に伴う様々な課題も克服可能！



3 一方、働く現場では次のような課題が…

「長時間労働」

働く方の健康に悪影響を及ぼすだけでなく、仕事と家庭生活との両立を困難にします。少子化の原因や女性のキャリア形成を阻む原因、男性の家庭参加を阻む原因となります。

「正規、非正規の不合理な処遇の差」

正規・非正規労働者間の不合理な処遇差は、非正規労働者に“正当な処遇がなされていない”という気持ちを起こさせ、頑張ろうという意欲をなくさせます。



福島労働局・労働基準監督署・公共職業安定所